

アスパラガス「ハルキタル」2年生株の立茎開始時期

福島県農業総合センター 作物園芸部野菜科

1 部門名

野菜—アスパラガス—品種、作型・栽培型、品質・食味

2 担当者

木村善明・緑川弥寿彦

3 要旨

福島県オリジナル品種「ハルキタル」を用いたハウス半促成長期どり栽培において、定植してから成園化するまでの収量を高め、株養成量を確保する栽培体系を確立するため、2年生株の立茎開始時期について検討した。

- (1) 「ハルキタル」2年生株において、春どり期の商品(A、B規格)収量が40kg/aに達した後に立茎を開始した株は、商品収量20kg、30kg/a収穫後に立茎を開始した株と比較して、夏秋どり期における収量が減少し、AL規格の割合も低下する(表1、図1)。
- (2) 2年生時の立茎開始時期を商品収量40kg/a収穫後とした株は、収量20kg、30kg収穫後とした株と比較して、翌年(3年生株)の春どり期における総収穫茎数に占める商品の割合及びAL規格の割合が低下する(図1)。
- (3) 2年生時の夏秋どり期収量及びAL規格の割合を高めるとともに、翌年(3年生株)の春どり期における商品茎やAL規格の割合も維持されることから、「ハルキタル」2年生株の立茎開始時期は、春どり期の商品収量が20~30kg/aに達した時期が適当である。

品種	立茎開始時期	春どり期	夏秋どり期	合計
ハルキタル	20kg/a収穫後	21.4	154.8	176.2
	30kg/a収穫後	30.8	156.9	187.8
	40kg/a収穫後	40.3	141.0	181.3
ウェルカム	30kg/a収穫後	29.6	194.2	223.8

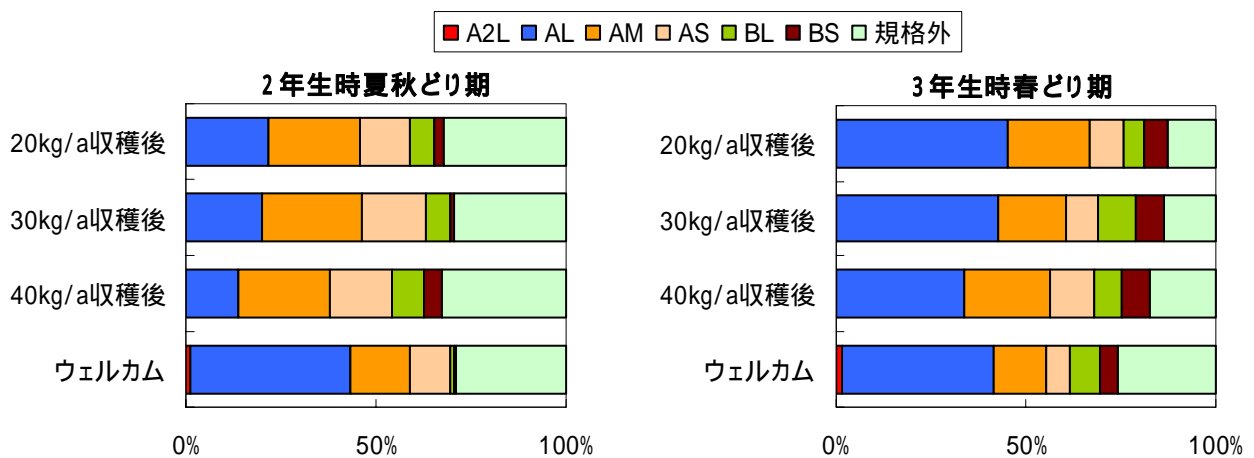


図1 2年生時の立茎開始時期の違いがその後の収穫茎の品質、規格に与える影響

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成19、20年度福島県農業総合センター試験成績概要(2007、2008)